

合併前の1市3町でそれぞれの料金体系がありましたので、今回の新しい料金体系では、水道料金が上がったところと下がったところがありました。

【意見等】防災行政無線で流す内容について基準を教えてください

防災行政無線は、子どもの一斉下校や人探し、振り込め詐欺などの放送が多いと思いますが、先日、1時間以上停電しても放送がありませんでした。防災の放送ですから、このような停電のときには放送があるべきだと思います。停電で介護をしているお年寄りを1人にしていて困った家庭もあったと思います。防災行政無線で放送する内容について基準を教えてください。

【回答】防災行政無線では、運用規則基準により、大きく分けて4つの情報を流すことになっています。

地震、台風等の非常事態に関すること。緊急に市民に知らせる必要があるもの。例えば、火災発生や光化学スモッグなどです。そして、人命にかかわること。例えば、行方不明の方のお尋ねや発見の場合などです。それから、一般行政に関わるものです。例えば、子どもの見守り、振り込め詐欺などです。

停電に関する防災行政無線放送は、停電情報の発信元となる東京電力から、市への放送依頼にもとづき放送することとなっています。今回は東京電力の依頼はありませんでした。

市民の安全、生活に関わる情報については、今後、必要な情報をこの運用基準に当てはめて運用していきます。

栗橋文化会館イリス(参加者76人)
7月5日(土) 14時～16時12分

【意見等】市の良い取り組み事例を各地区に広めて市全体が良くなるようにしてください

合併5周年を迎え、気になっていることがあります。栗橋町のときに行っていたボランティア活動などが、久喜市になってから突然なくなってしまうたり、違う形になってしまったりしているものがあると思います。そのような問題を、もう1回掘り起こして、久喜市全体で力を合わせて取り組める体制を作ってください。

久喜市の良い事例がありましたら、その仕組みを市全体に広げて、久喜市全体が良くなるようにお願いします。

【回答】現在、各総合支所単位で、地域会議の設置を検討しています。地域会議は、地域の実情をよく知っている方々にさまざまな意見を出してもらった上で、その地区も良くなるか、久喜市全体として更なる躍進ができるか、そのようなことを議論してもらったための組織を考えています。具体的には今後詰めて地域会議のあり方を示したいと思います。



▲栗橋総合支所

【意見等】地域福祉における行政と社会福祉協議会の関係を教えてください

民生委員として約220世帯の見守りを行っています。1人で全ての世帯を回るのは大変だと思っていたときに、社会福祉協議会からの提案で福祉委員が設置されることになりました。

4人の福祉委員と私の計5人で約220世帯を分担して見回ることになりましたが、福祉委員は行政の立場からの見回りとは違い、社会福祉協議会からの依頼で見守りの役割を果たす人だと思います。

もし、行政と社会福祉協議会とのスムーズな関係があれば、民生委員は行政の立場、福祉委員は社会福祉協議会の立場といったようなことにならなくて済んだと思います。行政と社会福祉協議会の関係は、どのようになっていくのでしょうか。

【回答】民生委員は、久喜市内で定員286人の方にお願ひしていますが、多い方では1人で300世帯をみている状況です。また、民生委員がいない地区もあって、そのような地区では、隣の地区の民生委員が2人でカバーしています。

すぐにでも民生委員を探さなければいけない状況にある中で、社会福祉協議会が昨年度ぐらいいから福祉委員制度を積極的に推進していて、現在、市内で100人を超える福祉委員の方々の協力をいただいています。

社会福祉協議会の福祉委員はボランティアのため、確かに、行政から委嘱される形ではありません。しかし、区

長をはじめ、地域で活躍されている多くの方々の協力があったと喜んでまっています。

行政と社会福祉協議会は、今も連携を図っていますが、今後も地域福祉、新たな支え合いの仕組みづくりを進めていく中で、協力・連携の関係を保ちながら、民生委員としての活動と福祉委員としての活動が一体となり、地域を支えられるようにしたいと考えています。

※市と社会福祉協議会では「地域福祉計画・地域福祉活動計画」を一体的に策定するなど、地域福祉の推進に向けて連携した取り組みを進めていきます。

東公民館(参加者50人)

7月6日(日) 9時30分～11時42分

【意見等】なぜ菖蒲高校跡地を運動公園にするのか教えてください

菖蒲高校跡地を運動公園として考えているようですが、市内には、久喜総合運動公園や八束緑地グラウンドもあります。なぜ菖蒲高校跡地を運動公園にするのか教えてください。

【回答】菖蒲総合支所の前にある八束緑地グラウンドは、埼玉県から借りているグラウンドで、菖蒲地区の運動会などで利用していました。

しかし、県が小林調整池の工事を進めることから八束緑地グラウンドの使用できなくなり、今年(平成26年)の6月いっぱいまで県に返すことになりました。